



岡本の洋館

竣工 1923年（大正12年）
所在 神戸市
構造 木造 一部鉄筋コンクリート造 地上3階
設計 木子七郎 施工 清水組（現清水建設）



栗原邸(旧鶴巻邸)

竣工 1929年（昭和4年）
所在 京都市（国登録有形文化財）
構造 鉄筋コンクリート造 地上3階
設計 本野精吾 施工 岡田工務店



伊藤邸（旧園田高弘邸）

竣工 1955年（昭和30年）
所在 東京都（国登録有形文化財）
構造 木造 地上2階
設計 吉村順三 施工 三海工務店

設立シンポジウムのプログラム

関西には、時代の波に揺られながらも歴史を重ねている近代建築やモダニズム建築、良質な町家・民家などがまだまだ存在しています。今回は、震災にも屈せず、今も威風を放つ岡本の洋館と、大学教育の一環で修復や活用を試みる京都の栗原邸の状況をお伝えします。また、建築家吉村順三の住宅が、音楽と建築との響き合いを生み、さらにかつて所有されていた方から新たな所有者の方へと響き合うことで、継承が実現した事例を紹介します。加えて価値ある「すまい」と法律・制度との関係も見えていくことで、住宅遺産を継承する秘訣を探ります。この設立シンポジウムでは、まずは私たちのことを知っていただき、美しいすまいの姿と忌憚のない意見交換を通し、住宅遺産の未来に一筋の光明を当てたいと願っています。

第1部 一般社団法人住宅遺産トラスト関西について

- ・設立の経緯と活動の概要

第2部 事例の報告

- ・「震災にも屈せず、今も威風を放つ岡本の洋館」
—岡本の洋館—
- ・「大学教育を通じた修復と活用の試み」
—栗原邸（旧鶴巻邸）—
- ・「音楽と建築、園田さんから伊藤さんへ響き合う家」
—伊藤邸（旧園田高弘邸）—
- ・「すまいをうけつぐ仕組みづくりをめざして」

第3部 座談会

- ・コーディネーター 倉方俊輔

懇親会 会場で引き続きおこないます。（会費 3,000円）

シンポジウム・懇親会の参加お申込みは lhd@hhtkansai.jp

設立メンバー（50音順）

岡崎行師	弁護士
奥村太朗	弁護士
笠原一人	京都工芸繊維大学
加本美香	弁護士
窪添正昭	建築士
倉方俊輔	大阪市立大学
白石秀知	認定NPO法人古材文化の会
末村巧	みんなの不動産/水辺不動産代表
高岡伸一	建築士
辻岡信也	弁護士
長岡弘隆	建築士
信森徹	旧ジョネス邸を次代に引き継ぐ会
原田純子	京都市文化財マネージャー
山本浩貴	弁護士

住宅遺産トラスト関西の活動を支えて下さる
サポーターを募集しています
<http://hhtkansai.jp/>



一般社団法人 住宅遺産トラスト関西